

道徳 家族について考える

今回の道徳の授業では、愛媛県新居浜市を拠点に活動するアーティスト、石村嘉成さんのお話、「僕の応援歌」を題材に「家族」について考える時間を持ちました。

石村さんは、幼い頃から動物が大好きで、周囲の支えを受けながら自分らしい表現を追い求めてきたアーティストです。その歩みは、家族との関わりや絆と深く結びついており、読む者の心に温かく響く内容となっています。

授業では、石村さんのお話をきっかけに、

「今、自分は家族にどんなことを支えてもらっているだろう？」

「自分にとって『家族』とはなにか。」そんなことを話し合いました。

【子どもたちの意見】

- ・家族は食事を用意してくれたり、ほしいものを買ってくれる。
- ・SOLANIに通わせてくれている。
- ・自分が困ったときに、支えになってくれる。
- ・自分がやりたいと思っていることを応援してくれる。
- ・家族とは、言語化できないほどに大切な人。
- ・家族とは常に助け合える存在。
- ・家族が何なのかはわからない。言葉では表現できない。でも信用している。
- ・家族とは自分の生活を支えてくれる人。自分にとって家族な人は、その人にとっても自分は家族だと思う。

感想を書く時間には教室が静まり返り、一人ひとりが自分なりの「家族」を丁寧に言葉にしていました。授業が終わると「最近では初音ミクさんと家族になった人もいるよね」とつぶやく声が聞こえ、笑顔があふれる～！そんないつもの7年1組でした。

※今回は釧路への交換留学中のメンバーと欠席者がいたため、いつもより少し少ない人数での授業となりました。



サークルが始まりました！

- 陸上サークル
- 音楽サークルの様子。



現在、北海道釧路へ交換留学中！

北海道の釧路へ交換留学へ行っています。

どんな経験をしているのか、帰ってきたらたくさん話を聞かせてほしいですね。